

愛、知、和

No 4 平成29年 7月7日
発行 大宮開成中学・高等学校
生徒指導部

21世紀を担う調和のとれた人間教育

6月19日(月)にアディッシュ株式会社スクールガーディアンより鈴木様をお招きし、高校1年生を対象に「ネットリテラシー」講演をしていただきました。近年は、ソーシャルメディアの構成要素である SNS(Social Networking Service)の利用が活発になっていく一方で、ソーシャルメディアの危険性等を知らないまま SNS を利用する人が増えています。そこで、大宮開成高校に入学した高校1年生に向けてソーシャルメディアの利便性だけでなく、その危険性についても講演していただきました。

(1) ネットリテラシーとは

インターネットを正しく使う、且つ活用するための力のことを指す。「デジタルネイティブ」世代の生徒にとって、大変重要な事である。

(2) ソーシャルメディアとは

誰もが自由に書き込むことができ、性別や年齢、立場、国籍を超えて、いろいろな人と簡単にコミュニケーションをとることができるインターネットサイト。

(3) ソーシャルメディアの危険性と可能性



【危険性～5つの教訓～】

- ① 違法行為はしない、書かない・・・年齢を問わず、裁かれる。道徳に反することはしてはならない。
- ② 問題ないか判断できないなら、書かない・・・他人が見てどう思うかを想像できないなら最初から投稿しないのが一番よい。
- ③ インターネットは匿名の世界ではない・・・色々な SNS から、簡単に個人は特定される。情報は漏れる・消せない。
- ④ 他人の個人情報を勝手に書かない・・・友達と写っている写真なども許可なく勝手に投稿するとトラブルのもとになる。
- ⑤ 「どう伝えるか」よりも「どう伝わるか」・・・インターネット上では、現実の世界以上に、相手にどう伝わるかを意識する。

【可能性～3つの活用事例～】

- ① 情報収集・・・Twitter は自分の興味のある分野についての最新の情報を簡単に集めることができる。政治・経済・社会など様々な分野における著名人からの情報も得ることが可能である。
- ② 交流・・・世界中にユーザーがいる Facebook を使えば、海外の友人とも瞬時にコミュニケーションが図れる。趣味・趣向のあう人との交流も可能になる。
- ③ 学習・・・勉強の記録をグラフにしたり、タイムラインで共有して仲間と励まし合ったりできる学習支援サービスもある。

(4) ルールづくり

■家庭のルール事例

- 基本は「時間のルール」「内容のルール」「金銭のルール」の3つ
- 13歳の息子に iPhone を買い与えた母親が作って話題になった「スマホ18の約束」

■地域のルール事例

- ある地域では21時を過ぎたら携帯電話を保護者に預けるルールになっている。夜遅くまで、いやいやグループの会話に付き合っていた生徒から、自分から「また明日」と言えるようになったと賛成意見が多数出ている。

(5) 最後に

インターネットというものは、広い世界と繋がっています。中でも、ソーシャルメディアは非常に便利ですし、スマートフォンとの相性も良いものです。将来、生徒のみなさんは今以上にソーシャルメディアを利用する機会が増えるでしょう。

- ・世界に繋がっているインターネットの世界には、守られた空間は存在しない。
- ・インターネット上に公開した情報は、無制限に複製が可能で、勝手にどこまでも拡がっていく。

このことを、決して忘れずに、この便利な機能たちを正しく有効に活用できる大人になってください。

生徒のマイルールの一例を紹介

- ・今は利用していないが、いつか使うかもしれない。その時は「悪口になる言葉は絶対に書かない」と心に決める。
- ・ツイッターのアカウントを今以上に増やさず、個人情報の保護に努めていく。
- ・承認欲求をネット世界に向けない。ネット世界ではなく、現実の世界で他人に認められた方が、自分にとって有益である。
- ・情報に対する判断能力を高めるため、インターネット、ソーシャルメディアは情報収集のために使うようにする。
- ・友達同士で時間を決めて使う。9時以降は親に預けるなどをして、使用制限を行う。
- ・自分の言葉や発信内容を第三者目線で見直してからツイートなどをする。絵文字でも人を傷つけてしまうことがある。
- ・相手を思いやる気持ちが何よりも大切である。自分で正しい情報を選び、相手も自分も傷つかないようにする。
- ・スマホを使用した分だけ勉強する。スマホを使わないことは無理なので、勉強とのバランスをしっかりと図れるようにする。
- ・グループにはできるだけ参加しない。自分の発信で数人が不快な思いをするのであれば、参加しないほうが良い。